

協議書（単独病床機能再編計画）

| | |
|-------------------------|--|
| 医療機関名 | 一般社団法人熊本市医師会 熊本地域医療センター |
| 所在地 | 熊本市中央区本荘5丁目16-10 |
| 現行の許可病床数 （病床機能） | 227床 （高度急性期4床、急性期181床、回復期28床、慢性期14床） |
| 病床稼働率 （H30年度）※ | 75.9% ※国のルールにより平成30年度稼働率を記載 |
| 変更後の 許可病床数 | 204床 （高度急性期4床、急性期160床、回復期26床、慢性期14床） |
| 減少前の病床機能を急性期として選択している理由 | <ul style="list-style-type: none"> ・当院では消化器外科・内科、糖尿病代謝内科、循環器内科、呼吸器内科、小児科等で急性期医療を提供しており、入院患者の約8割弱が急性期の患者である。 ・医療資源投入量については、平成30年1年間の平均が2,593点で、600点以上の患者が64%であった。 令和3年1月から12月における医療資源投入量は平均2,992点で、600点以上の患者が69%となっている。 |
| 病床数の減少前の役割 | 熊本市医師会員の後方支援や共同利用施設のための病院、また、地域医療支援病院、熊本県指定がん診療連携拠点病院、小児救急医療拠点病院、休日夜間急患センターなどの政策医療等を実施提供している |
| 病床数の減少後の役割 | ダウンサイジングを行うことによって、今後も医療ニーズが見込まれる消化器外科・内科、糖尿病代謝内科、循環器内科、呼吸器内科、小児科といった機能を重点化し会員への後方支援という役割を引き続き担っていく。 |
| 病床数減少のスケジュール | 令和4年より設計・施工業者の選定を行い、令和7年度（予定）の新病院竣工を目指す |
| 計画完了までの病床数の変遷について | 新病院開院時、227床→204床に減床する |